

H I V / A I D S と就労に関する意識調査 報告書

調査実施主体：社会福祉法人はばたき福祉事業団、2011

(社福) はばたき福祉事業団では、職場でのH I V / に関する意識と態度に関する実態調査として、企業の従業員を対象にしたインターネット調査「H I V と就労に関する意識調査 (調査実施主体：社会福祉法人はばたき福祉事業団)」の調査結果をまとめました。

(有効回答数 254 件 (回収率 63.3%))

- 実際の職場では、
「H I V 感染者と働くことは問題がない (76.5%)」「今まで通りに接する (94.4%)」「仕事を続けるよう勧める (73.1%)」など、同僚や上司らによる、H I V 感染者に対する理解や、支援意識が示された。
- 自分自身がH I V 感染者となった場合には、
「どうしていいかわからない (60.3%)」「会社に伏せたまま仕事を続ける (52.4%)」など、支援を受ける難しさが浮き彫りに。

調査概要

調査名：H I V と就労に関する意識調査

調査実施主体：社会福祉法人 (はばたき福祉事業団)

調査対象：企業 4 社 (上場企業他 / 業種：製薬・金融・サービス他)

調査時期：2011 年 8 月～11 月

調査方法：インターネット調査 (匿名)

有効回答率：254 件 / 401 件 (63.3%)

調査目的：

- 1) H I V に関する意識や態度
- 2) 実際の職場での対応
- 3) 自身や上司・同僚のH I V 感染が判明した時の態度や考え

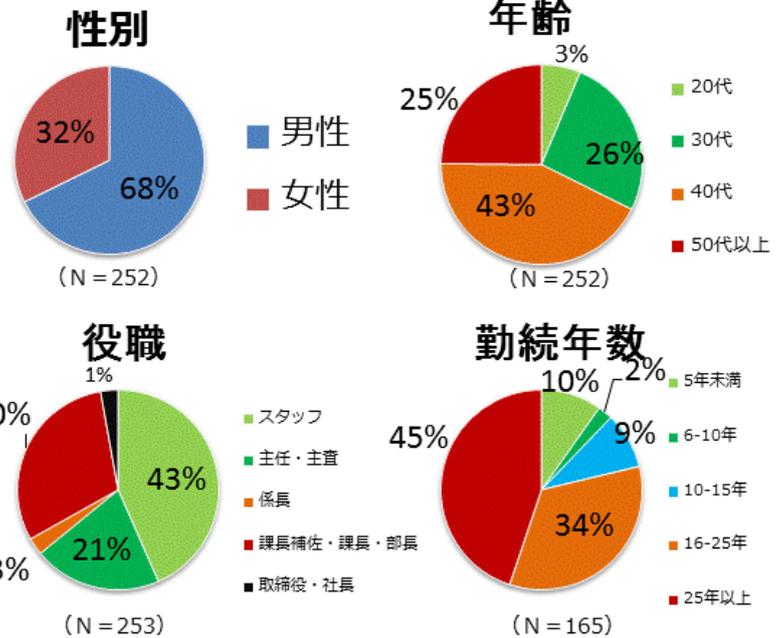
以上、全 43 項目について質問した。

HIV/AIDSと就労に関する意識調査

調査実施主体: 社会福祉法人はばたき福祉事業団、2011

- 調査対象
 - 企業4社（上場企業他）
 - 業種：製薬・金融・サービス他）
- 調査時期
 - 2011年8月～11月
- 調査方法
 - インターネット調査
- 有効回答率
 - 254件/401件 (63.3%)
- 調査目的
 - HIVに関する意識や態度、また実際の職場での対応や、自身の感染が判明した時の態度や考えについて尋ねた。
 - 全43項目

調査対象者の属性・特性



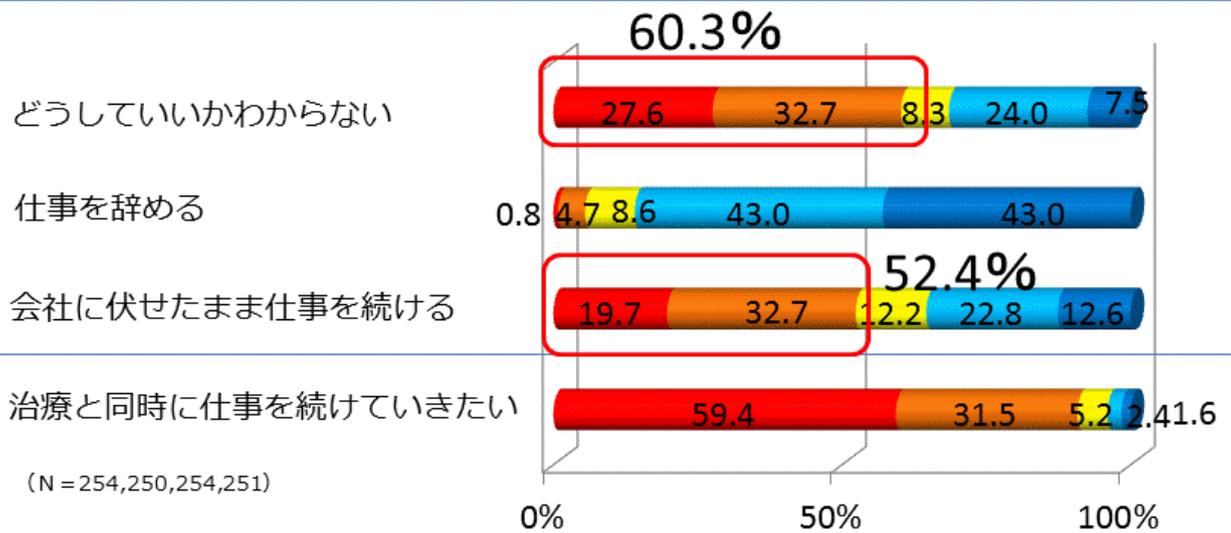
・無回答を除いて集計
 ・端数は四捨五入のため合計は100%にならない場合がある。

結果

HIV/AIDSと就労に関する意識調査
 調査実施主体: 社会福祉法人はばたき福祉事業団、2011

自分自身のHIV感染を知った時

「どうしていいかわからない」との回答が60.3%。
 「会社に伏せたまま仕事を続ける」52.4%



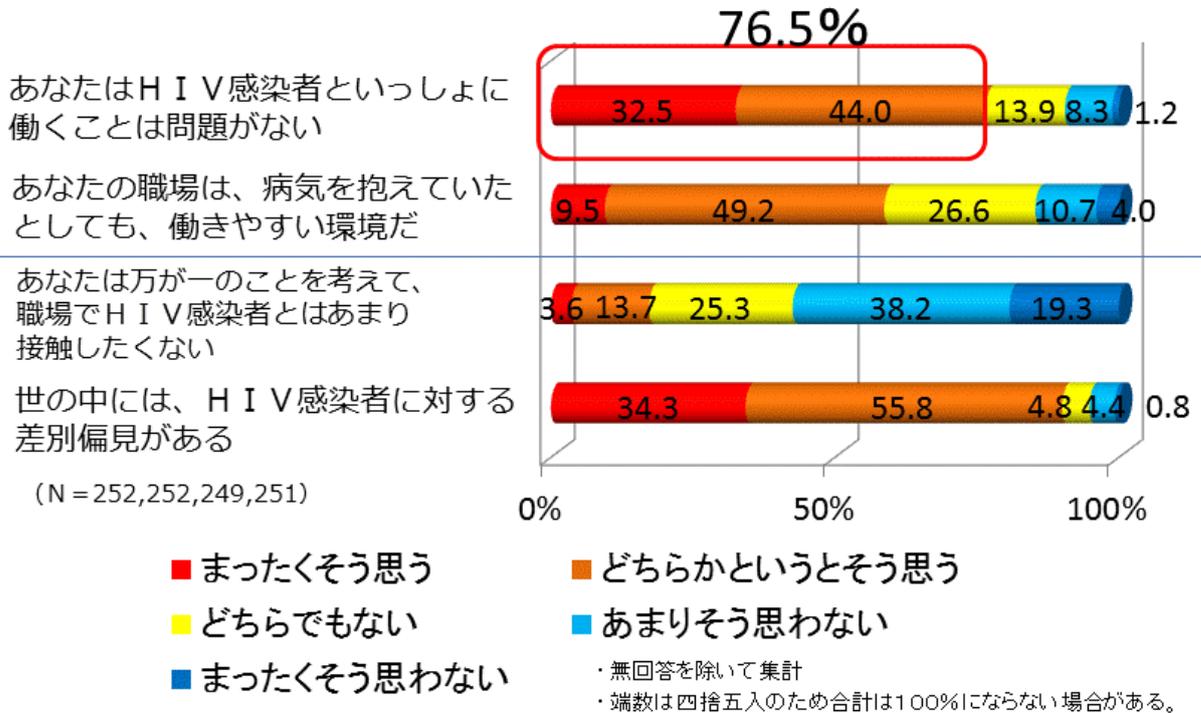
- まったくそう思う
- どちらかというと思う
- どちらでもない
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

・無回答を除いて集計
 ・端数は四捨五入のため合計は100%にならない場合がある。

結果

HIV/AIDSと就労に関する意識調査
調査実施主体: 社会福祉法人はばたき福祉事業団、2011

H I V感染者といっしょに働くことは問題がない
との回答が76.5%。



結果

HIV/AIDSと就労に関する意識調査
調査実施主体: 社会福祉法人はばたき福祉事業団、2011

同僚・上司のH I V感染を知った時

「今まで通りに接する」との回答が94.4%。
「仕事を続けるよう勧める」73.1%。

